

# 三学年だより

令和3年 5月22日(土)

第3号

## 本音で話せる友達は欲しいですか？

ネットにこんな投稿がありました。少し長いですがよかったですら読んでください。

小学校の頃に別のクラスに車椅子の子がいて、先生だったか誰かの指示で家が同じ方向の同級生の誰かが必ず一緒に帰る決まりだった。最初はクラスメイトと帰っていたが直ぐにネタ切れになって3年の時、別のクラスの僕と一緒に帰る事になった。その子は1年生の頃から別のクラスだったが「後頭部に電極を埋めているので軽い気持ちで頭を叩かないで」などの諸注意を最初に同学年全員に説明されたのを今でも覚えている。

その子自体は、明るい男の子で階段の上り下りも自分でやるし人に頼らなくても出来る事はなんでも自分でやる真っ黒の靴下で懸命に階段を上り下りしていた姿を今でも覚えていて「なんか強い奴だ」と最初に思った。障害者へのイメージは今でも彼のイメージが強い。

お母さんも過保護な感じではなく突き放すところは突き放すしっかりした人で理不尽な要求をされた経験もない。一緒に帰っていくと申し訳ない位本当に感謝された。

ただ、僕には一つ不満があった。それは、指名されると半ば強制的に彼と一緒に帰らないといけなかった。子供ながらにみんな彼には遠慮している部分があり、気心の知れた友達と下校するのはやはり違う。危険な帰り道を選んで帰ったりも出来ないため当時のやんちゃな僕には、少々窮屈だったのだ。それで僕は、何度目かの下校の時、思い切って彼にその不満を打ち明けた。

半分罪悪感を持ちつつもどこかで彼なら分かってくれようと思ったからだった。

「本当の友達ってこういうものじゃない」誰かに言われて一緒に帰るなんて変だ。そう言う趣旨の事をとにかく懸命に説明した。

今思えば正直一緒に帰るのが少々面倒だったのも否定できない。だけど僕だって友達と一緒に帰ろうと誘って断られる苦い経験は、沢山あったし誰と下校するか？と言うのは人気者を除けば基本的に皆毎回争奪戦でそれが普通なのだ。

話を終えると彼は少し寂しそうな顔をしたと思う。僕はきつと親や先生に怒られると覚悟した。でも、覚悟した上で話したから仕方ないと思った。

その後しばらく僕は下校に指名されなかった。罪悪感を持った僕は、ある朝の登校時に彼の家を訪ねた。不安を感じながらチャイムを押すとお母さんが凄くびっくりした顔で出迎えてくれた。「朝、自分から誘いに来てくれた子は初めてだ」と凄く喜んでくれた。

てっきり叱られると思っていた僕。沢山送り迎えている上に別のクラスだったのにお母さんは僕の名前をちゃんと知っていた。「あの日の子は凄く喜んでいたの」お母さんは言った。僕は、一瞬首を傾げた。下校中一緒に帰りたくないと言う話を聞かされ、彼にとって辛いことだと思っていたから。でもそれは、僕が彼を見くびっていたことだった。お母さんは、とても嬉しそうに「初めて本音で話してくれる友達がいたからって言っていたのよ」と続けた。

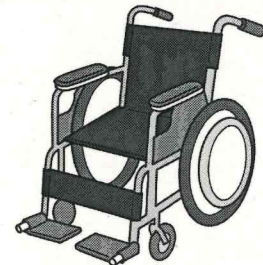
彼の強さに僕は、衝撃を受けた。そして息子の話の受け止め方を完全に理解している目の前のお母さんが本当に凄い人だと思った。彼は僕以上に僕の言いたかった事をあの場で理解していた。繰り返すが当時小3の事である。その後僕は、自分の気が向いたときだけその子と一緒に帰るようになった。

そしていつの間にか彼と一緒に帰る指名の習慣は無くなった。

僕が障害を持つ人に変な偏見を持たずに済んだのは今でも彼と彼のお母さんのおかげだと思います。

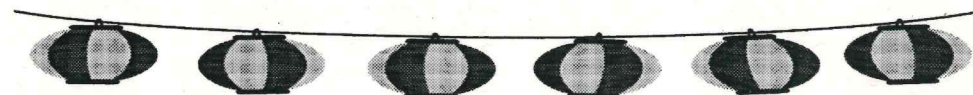
みなさんの中には人との衝突を恐れるあまり必要以上に気をつけている人もいるかもしれませんが、時には本音を伝えることも大切ではないでしょうか。もちろんそれによって相手を傷つけてしまうこともあるかもしれませんがどのように伝えるかよく考えることは必要です。そのうえで本音を伝えることは相手に対して誠実に向きあっていることにもなると思います。

「本音を伝えて、本音を受け取る」体育祭、そんな気持ちで臨んでみてはどうでしょうか。



### ◎主な今後の予定

日	予定
5/22(土)	PTA 総会 月曜授業 1~4限
5/24(月)	PTA 総会代休
5/25(火)~	体育祭特別時程 (5分短縮)
6/2(水)	体育祭
6/4(金)	水曜振替
6/16(水)~18(金)	保護者面談
6/24(木)	性教育講演会
6/29(火)~	期末考査



### ◎裏面：特別付録

3学年「総合探究」  
論文・志望動機作成へのアプローチ②  
進路探究の意義



進路に向けての準備はいかがでしょうか。中学校とは違い、高校では様々な進路先があります。自分に合わせた準備が必要です。

「わからない」と言い訳している暇はありません。黙っていたら何かしてもらえていると思っていただくとあとで後悔することになります。まずは自分から行動を始めましょう。